

# 園だより

第1号

令和4年4月6日



## 人格形成の基礎を培う教育

園長 加藤 邦彦

令和4年度がスタートしました。始業式では新しく青組・緑組に進級した子どもたちが、とても凛々しく、そして頼もしく感じられました。8日には赤組さんが入園し、来週の月曜日からは全園児134名による教育活動が始まります。ご承知のとおり、ばんけいの自然は、子どもが様々なことを試しながら、心身ともに成長することができる絶好の環境です。そうしたフィールドで私ども教職員は、お子様の生涯にわたる人格形成の基礎を培うための教育を行ってまいります。保護者のみなさま、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



### 教育相談について

札幌市の市・私立幼稚園では子育てについての悩みなどの相談を受けています。当園でも教育相談を行っておりますので、心配なことなどありましたらおひとりで悩まずにご相談ください。（通園されている方以外も対応いたします。）

- ・ことばや発音が気になる
- ・生活の様子で気になることがある
- ・お子さんへの関わり方について
- ・お友達のことについて

\*園に直接いらっしゃる場合は事前に連絡をください。

受付窓口： 園長 ☎ 641-0551  
受付時間 10時～12時



## 令和4年度の教育にあたって

令和4年度の教育計画作成にあたり、ばんけい幼稚園の教育について、以下に示したことを重点としました。新しい時代に求められる生きる力を育むために園・学校・家庭・地域で共有していきたいと考えています。また、預かり保育、未就園児保育、教育相談等、子育て支援としての役割も担ってまいります。皆様にはご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### 1 教育の基本方針

教育は、子どもの望ましい発達を期待し、子どものもつ潜在的な可能性に働きかけ、その人格の形成を図る営みです。とりわけ、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っています。

そのため、幼稚園では人間として自立し、人として社会と関わりながら生きていくための教育を行う必要があります。その際、その子のありのままを共感的に受けとめ、子どもが深い安心を感じることを大切にしていきます。

そのことにより、子どもの自尊感情（自己肯定感）が形成されていきます。自尊感情（自己肯定感）の高まりは人格の形成はもとより、教育・発達上の様々な望ましい効果をもたらすことを胸に刻んで教育を進めてまいります。

### 2 今年度の保育の重点 ～自尊感情（自己肯定感）を高めるために～

#### (1) ほめてのばす教育

子どもの良いところをタイムリーにほめ、そうした教師の子どもへの肯定的な働きかけを積み重ね、自尊感情（自己肯定感）を一層高めます。

#### (2) 恵まれた自然を生かした教育

恵まれた自然の中での遊びを通して、子どもの意欲や興味関心を高め、様々な気づきや学びが生まれるような活動を行います。

#### (3) 音楽・表現に力を入れた取組

リトミック、英語の活動に取り組むとともに、青組で合唱の活動に取り組み、練習の成果を『ばんけいミュージックフェスティバル』で発表します。

### 3 保育の内容

#### (1) 健康

健康、安全で幸福な生活に必要な習慣を養い、心身の発達を促します。

#### (2) 人間関係

集団生活の中で、自主、自律、協働の精神と規範意識の芽生えを養います。

#### (3) 環境

自然、社会生活に対する興味を高め、思考力の芽生えを養います。

#### (4) 言葉

正しく言葉を使い、相手の話を理解しようとする態度を養います。

#### (5) 表現

豊かな感性と表現力の芽生えを養います。

## 《 ばんけい幼稚園の保育形態 》

ばんけい幼稚園の保育形態は異年齢のクラス編成になっています。

年少児は3歳児としての生活を十分に満足させることで園生活に慣れていくと考え、学年での生活が主となります。1, 2学期はいろいろな活動や好きな遊びを通して異年齢の友達との関わりが持てるよう援助し、3学期になってから年中児との生活クラスとなります。

年中、年長児は異年齢の友達との関わりの中で生活や遊びに刺激を受け、経験を深めていくことを目指しています。同時にその年齢の発達段階にあわせた活動も経験できるように、年齢別の活動も大切にしていきます。